



2022年2月15日

報道関係者各位

慶應義塾大学

「KEIO SPORTS SDGs シンポジウム 2022」のオンライン開催 (3/5)**—持続可能なスポーツ・身体活動の発展—**

慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科は、世界保健機関 (World Health Organization: WHO) が2018年6月に発表した身体活動に関する世界行動計画 (Global Action Plan on Physical Activity 2018-2030: GAPP) の日本での取り組みに尽力し、日本語版の作成を進めてきました。日本語版完成を契機として、2030年の持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)、さらにその先に向けて、塾内外のステークホルダーが集まり、今後行うべきことを考え推進していくために、KEIO SPORTS SDGs を発足しました。

この度、「KEIO SPORTS SDGs シンポジウム 2022」をオンライン開催します。2021年度には、神奈川県大学発・事業提案制度に採択され、神奈川県と連携し、事業を進めてきた結果も含め、今回のシンポジウムにて共有し、今後の展開について考えていきます。

ぜひご取材のほど、お願い申し上げます。

1. 趣旨

慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科は、世界保健機関 (World Health Organization: WHO) が2018年6月に発表した身体活動に関する世界行動計画 (Global Action Plan on Physical Activity 2018-2030: GAPP) の日本での取り組みに尽力し、日本語版の作成を進めてきました。その日本語版を発表するタイミングで、2030年の持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)、さらにその先に向けて、塾内外のステークホルダーが集まり、今後行うべきことを考え推進していくために、KEIO SPORTS SDGs を発足しました。現在、新型コロナウイルス感染症により新常態における身体活動・スポーツを捉えなおし、持続可能な形で社会に包含していく必要が生じていると言えます。2021年度には神奈川県大学発・事業提案制度に採択され、神奈川県と連携し事業を進めてきました。その成果も含め、シンポジウムで共有し、今後の展開について考えていきます。

2. 「慶應スポーツ SDGs シンポジウム 2022」開催概要

日時 : 2022年3月5日 (土) 13:00~17:00

実施方法 : Zoom および YouTube を利用したオンライン開催

参加料 : 無料 (ウェブサイトより要事前登録)

<https://keiosportssdgs2022symposium.peatix.com/>



主催 : 慶應義塾大学

担当 : スポーツ医学研究センター、大学院健康マネジメント研究科、大学院システムデザイン・マネジメント研究科、体育研究所、SFC 研究所 xSDG・ラボ、医学部スポーツ医学総合センター、グローバルリサーチインスティテュート

後援 : 神奈川県、横浜市、藤沢市、日本運動疫学会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、NPO 法人日本健康運動指導士会、公益財団法人横浜市スポーツ協会、一般社団法人慶應ラグビー倶楽部

内容：

特別講演：「Sheffieldにおける身体活動 / システムズアプローチ『Move More』」
Sheffield Hallam University Associate Professor Anna Lowe
(オンデマンド配信、日本語字幕付き)

講演①：「KEIO SPORTS SDGs について」

スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科 准教授 小熊祐子

講演②：「オリンピック・パラリンピックレガシーと SDGs」

「スポーツイベントを止めないために -新型コロナ下での大会運営のレガシー-」
スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科 教授 石田浩之
「東京 2020 大会事前キャンプ英国サポートを通じた 5 年間にわたるスポーツボランティア
学生の育成」
体育研究所 専任講師 稲見崇孝
「SDGs と東京大会：2030 年への社会変革を展望して」
SFC 研究所 上席所員 佐々木剛二

講演③：「システムズアプローチとスポーツ SDGs」

大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 神武直彦
「『神奈川&慶應スポーツ SDGs プロジェクト』実施報告」
大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教 和田康二

講演④：「GAPPA と地域で実践するスポーツ SDGs」

スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科 准教授 小熊祐子
「GAPPA で身体活動推進を捉え直す ～藤沢市の事例～」
スポーツ医学研究センター 研究員 伊藤智也

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部、社会部、運動部等に送信しております。

シンポジウムの問い合わせ先

慶應義塾大学スポーツ医学研究センター
TEL：045-566-1090 FAX：045-566-1067
E-mail：keiosportssdgs@gmail.com

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（担当：望月）
TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640
E-mail：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>